

北アルプス千丈沢～天上沢・遡行

参加者：大西希(L)、ランゲ大西ヴォルフ(SL)、和田穰二(記録)

日程：2013年10月12日(土)～10月15日(火)

大西夫妻から「千丈沢－槍－天上沢」に行きませんかとお誘いがあり、年も体力も忘れ、一も二もなく受けてしまった。

10月12日(土):曇時々晴、小雨

高瀬ダム発 07:40⇒湯俣温泉晴嵐荘発 10:45⇒中東沢出合 11:50⇒千天出合 13:30⇒1700m付近 15:30

11日新宿発の夜行バスで七倉に翌12日早朝到着、テントで仮眠する。ゲート開門後、タクシーで高瀬ダムまで入り、歩き始める。ダム湖畔の道は昨年9月ヴォルフさんといった東沢遡行の帰りに通って以来。



大昔高瀬ダムができる前、この道を12月に通ったが、河原沿いの林の中の静かな道だった。静けさは昔と同じだが、今は高瀬ダム沿いの道となり、黙々と歩く。ダム湖が終わり高瀬川沿いの道をしばらく行くと対岸に晴嵐荘が見えてきた。吊橋を渡り小屋に到着する。ここで沢装備を整え出発する。天候は冴えない。小屋を出て高瀬川沿いを少しいくと、水俣川に架かる吊橋があり、ここから遡行開始。小雨の中、渡渉を繰り返しながら進む。左岸の壁に古いロープが掛っている。廃道となった宮田新道の痕跡らしい。

硫黄尾根側の沢を見上げると、ギザギザの脆い岩稜が。そこから落ちてきたのか赤茶けた大岩が沢に散乱している。沢の幅が狭まり谷はゴルジュとなり右に左に飛びながら進むと水天出合に到着する。暫くゴルジュが続き、高度を上げるにつれ谷は広く浅くなっていく。テン場を探しながら進む。高度1700m付近の台地を初日のねぐらとする。

10月13日(日):快晴

1700m付近テン場発 07:10⇒ガレ沢出合 08:00⇒中山沢出合 09:20⇒六ノ沢出合 11:10⇒2402m 14:20⇒千丈乗越手前コル 16:10⇒槍ヶ岳山荘 18:00⇒殺生ヒュッテ 19:30



起きると素晴らしい天気。本日は槍までの長丁場だ。テン場を7時過ぎに出発する。徐々に沢の流れが細くなり、各自プラティパスを満タンにする。暫く行くとまた流れが出てきた。後ろを振り返ると燕岳の稜線、右は硫黄尾根、左は北鎌尾根が迫り、前方はるか先に西鎌の稜線が見える。11時過ぎ、六ノ沢出合に到着。沢靴を山靴に履き替え、暫し休憩。六ノ沢の最奥に大槍小槍が見える。黄葉した灌木帯を抜けると、槍まで続く広大なガレ沢となる。六ノ沢に水はない。大きなガレ谷の中をひたすら登る。浮き石が多いので注意が必要だ。2400m付近より

右に、急なガレ場を千丈乗越に向かって進む。昨日降った雪が所々薄く残っている。16時過ぎに千丈乗

越を少し下った西鎌尾根に出る。夕闇が迫っている。先を急ぐが、最後の突き上げで Reporter が遅れ始める。暗闇の中ヘッドランプをつけ漸く肩に到着する。槍ヶ岳山荘は光と人が溢れ暖かい。小屋で小休止、暖かい飲み物でやっと人心地。槍のテン場は満杯で殺生ヒュッテまで行ってくださいとのこと。1時間ほど休憩の後、殺生ヒュッテに下る。本当に長い一日でした。

10月14日(月):快晴

殺生ヒュッテ発 07:30⇒水俣乗越 10:00⇒貧乏沢出合 13:30⇒1740mテン場 15:00

今日も快晴。Stopper は 40 年ぶりの東鎌。梯子が多いと記憶していたが、その通り。日陰には雪が残っている。抜けるような青空の下、振り返ると槍穂から北鎌尾根の岩稜、正面には表銀座・裏銀座の山々、左手下は天上沢から高瀬川に続く大きな谷、右手は穂高へと続く稜線と上高地へ下る槍沢の広い谷、ナナカマドの赤い実と黄葉の山々が鮮やかです。

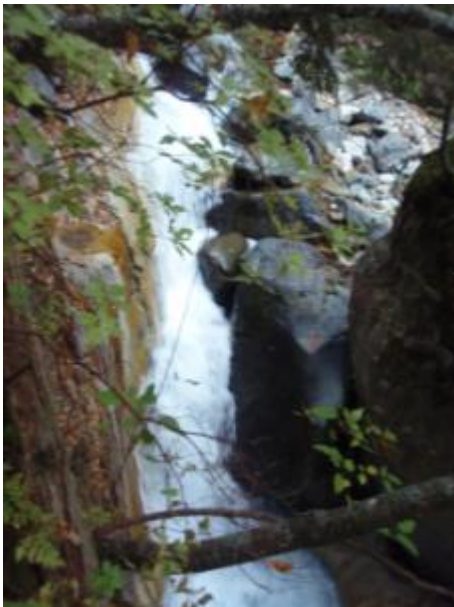


10 時に水俣乗越着。天井沢は急な下りから一気に広い谷となる。左に北鎌尾根、眼下には黄葉した林が広がる雄大な天上沢。下を見たり、横を見たりと忙しい。

若い単独行者が追い抜いていく。北鎌に行くそう。今日は独標まで行きたいとのこと。秋晴れのもと、黄葉を楽しみながら広い谷を下る。河岸の砂地を今夜のねぐらとする。流木、倒木を集め大ファイア。

10月14日(月):晴のち雨

1740mテン場発 06:40⇒高巻開始 08:30⇒高巻終了 09:20⇒千天出合 10:00⇒湯俣温泉晴嵐荘着 13:00/晴嵐荘発 14:00⇒高瀬ダム着 16:30



7時前に出発。広い河原を快調に進むが、大天井側から落ち込む沢と合流する地点から天上沢はゴルジュ状となり左に曲がっている。左岸の河岸段丘を越え天上沢に戻り渡渉する。少し右岸を進むと滝が現れ、滝上部の岩棚を進むが、通行不能となる。少し戻り高巻を開始する。草付きの急斜面を熊笹や灌木を掴み強引に登り、斜面をトラバース。2つの支尾根を越え、熊笹をかき分け漸く沢に戻る。久し振りに♪暗い悲しい山の一日そば降る雨に濡れながらあの谷この沢藪を漕ぎそれでも元気で歌おうよ♪を気持ち良く歌った。

少し行くと千天出合に出る。ここからは2日前に通った水俣川。流れを右に左に飛びながら進む。暫く行くと左岸に立派な巻道がある。廃道の跡?と訝りながら行くと、最近崩壊したらしいガレの急斜面にでる。道は流されているが踏み跡は

残っていたので、下を見ないようにして通過する。晴嵐荘でこの巻き道のことを尋ねると、曰く「少しずつ作っている」のだそうだ。「工事中につき通行不可」等の標識が必要ではありませんか?あまり人が来るところではありませんが。



巻き道を暫く行くと水俣川に戻る。やがて遠くに吊橋が見えてくる。13時、晴嵐荘に戻ってきた。小屋は今日が最終日とのことで、タダでおでんのご相伴に預かる。ヴォルフさんは小屋の温泉に直行。1時間ほど休憩し、雨の中を高瀬ダムに向かう。最後の長いトンネルを抜け高瀬ダムに到着。タクシーを呼んで七倉山荘へ。温泉で三日間の汗を流す。(記：和田)